住民のための市政を！！

ごうつ民報

日本共産党江津市委員会
電話　５２－２６３３
ＦＡＸ　５２－７２４４
ＮＯ．２４３７
２０２１年２月１４日

日本民主青年同盟島根県委員会が学生食料支援
ハッピーフードプロジェクトを実施

７日、日本民主青年同盟島根県委員会の主催で、学生食料支援「ハッピーフードプロジェクト」が、出雲市の島根県民医連学生サポートセンターで開催され、江津市からも物資を届けました。

島根県で２回目の食料支援を実施

コロナ禍で生活に苦しむ学生に向けて始まった無料の食料支援は、全国45都道府県に広がり、のべ３万人に利用されています。政治や行政を動かす力ともなり、メディアからも大きな反響があり、全国各地で青年の要求実現のために行動する日本民主民青同盟（以下、民青同盟）の姿を示す場ともなっています。

民青同盟島根県委員会（後藤真実子委員長）でも、２月７日に出雲市の島根大学医学部附属病院近くの島根県民医連学生サポートセンター前の広場で、今年になって２回目の学生食料支援を行いました。

この日のために県内各地からは、米・野菜やインスタント麺・レトルト食品・缶詰などの食料品に加え、マスク・消毒液・洗剤などの生活用品が大量に集められました。江津市からも、日本共産党江津市委員会が市民有志から集めた米・野菜や漬け物・ジャムなどの加工品を送りました。

困っている学生　島根にもたくさん

当日、10時からの学生食料支援活動には、案内ビラや口コミで60人を超える学生が集まり、後藤県委員長からの「若い人のための２回目の食料支援を行います」との宣言で始まりました。約20人のスタッフとボランティアが学生に対応しました。

開始から１時間が経過した頃には参加者も増え、集まった学生のなかには、コロナ禍で帰国できなくなったミャンマー・ベトナム・中国・インドネシアなどからの留学生の姿も。会場から電話で友人へ参加を呼びかける学生もあり、12時頃にはすべての物資がなくなり終了となりました。

物資を持ち帰る学生からは「本当に助かった」「また来たい」と明るい笑顔が。ボランティアの学生からは「困っている人が本当に多いと感じた。もっと活動を広げたい」との声がありました。

アンケート調査でも対話がはずむ

「ハッピーフードプロジェクト」では、コロナ禍のもとで学生の置かれた状況を把握するため、集まった学生に対して実態調査のアンケートを実施しており、以下は寄せられた回答です。

▼オンライン授業ばかりで、知識が身についているのか不安。人に会えなさ過ぎて、ストレスを感じる。（１年）

▼たくさんいただけてうれしいです。ありがとうございます。（１年）

▼Thank you very much for your support.（留学生）

▼野菜や米を頂けるのは有難いです。対面でのアルバイトは禁止されて、収入が減りました。（２年）

▼すごく助かりました。（３年）

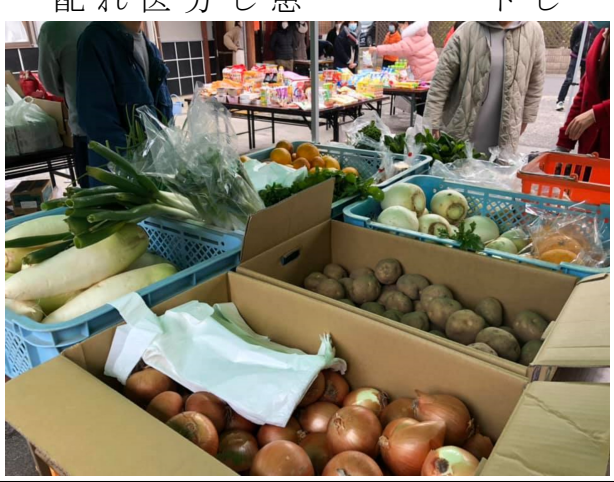
▼一人でいるのがさみしいです。（１年）

▼接客のバイトをしていたので、バイトを辞めた。（５年）

▼就職先の見学が、思うようにできない。（５年）

▼病棟実習中で「患者さんにうつしてしまわないか」「自分が感染することで医大生の信頼が失われないか」という心配があります。（５年）

アンケート調査では、同世代のスタッフ・ボランティアと参加者の対話がはずんでいました。



コロナ禍だからこそ重要な活動

民青同盟はコロナ禍のなかで、学園や地域でどのように活動を続けるかとの困難に直面していますが、知恵を出し合って活動しており、学生食料支援は岡山・山口・高知から始まりました。

後藤県委員長は「食料や日用品を両手いっぱいに持って笑顔で帰る学生の姿に、切実な実態と支援の必要を感じました。今年は必ず総選挙があります。青年を苦しめ、学問への政治介入やコロナ対策で迷走する菅政権を、これ以上続けさせないため、市民と野党の共闘で政権交代すれば、自分たちのくらしがどのように変わるのかを伝え、新しい政治を求める流れをつくっていきたい」としつつ、活動への協力に感謝を述べました。

民青同盟とは？

日本民主青年同盟は、1923年4月5日に設立された、高校生・大学生・青年労働者などが参加する民主的な全国組織です。青年の切実な要求に応え、生活の向上・平和・独立・民主主義・社会進歩を目指しており、日本共産党を相談相手として、科学的社会主義を学んでいます。加盟している同盟員は約1万人です。

現在はコロナ危機から青年の生活や学業を守るため、さまざまな活動に取り組んでいます。昨年11月に行われた全国大会で、年間で同盟員2000人増を目標とし、実現に挑戦しています。

悩み・困りごと
ご相談ください

森川よしひで
０９０－７３７９－１５５４

多田伸治
０９０－６０１４－２２５９

江の川の防災対策
出水期までに河道掘削を実施

昨年・一昨々年と度重なる江の川での豪雨災害を受け、国土交通省が河道掘削の工事を各所で進めています。

金田町千金では 3万～4万㎥を除去

これまでに工事が行われているのは、金田町千金の河川敷。ダンプカー15台がひっきりなしに出入りし、堆積していた土砂を運び出しています。国土交通省浜田河川道路事務所によれば、千金での工事は3月末までの予定で、今回の工事でこれまでに3万～4万㎥の土砂が除去されています。

周辺住民からは「ダンプカーが出入りするため、県道三次江津線の路面が傷んでいる」との声が寄せられています。これについて県道を管理する浜田県土整備事務所は「工事主体の国交省が、工事後に修繕することになっており、県でも確認してほかに傷んでいるところがあれば、改めて県で対応する」としています。

ほぼ工事が終わった千金

国交省が地域住民に 河道掘削を約束

二度の災害で大きな被害を受けた桜江町川越でも、河道掘削の工事が予定されています。特に江の川からの逆流で被害のあった渡田では、河道掘削は国交省と住民の約束となっています。

渡田では、増水による被害の拡大を防ぐため、部分的な「仮締切」を可能にするための仮堤防を、出水期（6月1日～10月31日）までに設置することとなっています。その設置について、昨年11月に行われた地元説明会では、「仮締切」で取り残されるエリアの住民から「かえって逆流の水位が上がるのではないか」との問いに、国交省担当者が「次の出水期までに、川越大橋から下流10㎞程度で、河道掘削を実施する」とし、水位は上がらないと説明していました。

川越-谷住郷の工事は出水期に間に合う？

しかし、現状で江の川の川越-谷住郷の間では、工事に向けての大きな動きがないため、地域住民からは「出水期の6月までに間に合うのか」と心配する声も上がっています。

当面の予定について、国土交通省浜田河川道路事務所は、河道内の樹木の伐採と河道掘削をすでに発注しており、2月中には工事を開始し、6月までに完了させるとしています。

また仮堤防についても、4月から工事を行い、あわせて設置する仮設道路も含め、6月までには完成するとの見通しを示しました。

ただ、河道掘削の実施場所は「樹木伐採をおこなって、状況を確認した上で確定させる」と述べるに留まっており、河道掘削による江の川全体での水位を下げる効果についても明言を避けました。

◇◆◇◆◇◆◇

このほかに、川平町赤栗でも工事が予定されていますが、現状は予算要求を行っている段階であり、仮に予算が認められた場合でも、実施は出水期が終わった11月以降になる見込みです。

大量に堆積している川越の花河原

非核平和宣言都市は市民の誇り

市役所そばの資源ごみ置き場に行くたびに、「非核平和宣言都市 江津市」との看板の文字が、安心感とともに目に映ります。

1月22日、核兵器禁止条約が50カ国の批准を得て発効となり（現在は52カ国）、核兵器を使っても、持っていても、開発・研究しても、脅しても、国際的に違法となりました。それ以来、私にとって「非核平和宣言都市 江津市」の文字は、さらに重い意味を持つようになりました。そこで、休みの日に看板を見るため、市役所まで出かけました。

看板は三角柱の形になっていて、いつも目にする「非核平和宣言都市 江津市」以外の二面にも、言葉がありました。一つは「江津市民の誓い 非核三原則の遵守」、もう一つは「江津市民の願い 核兵器の廃絶と恒久平和の達成」です。

これを見て、自分が江津市民の一人であることが誇らしく思えてきました。同時に、どんな経緯で江津市が非核平和宣言都市となったのか、どうしても知りたいと思いました。幸いにも、宣言が市議会で決議された1984年（昭和59年）に市議だった方から、会議録のコピーを見せていただくことができました。

会議録によると「核兵器廃絶平和の市となることに関する決議」は、全会派が集まる議会運営委員会で審議され、全会派の賛成を得て、本会議で議運委員長だった永井薫議員が提案説明をされています。永井議員は、市議会は核兵器の全面撤廃、軍備縮小の推進に関する意見書を政府に送っていることと、米ソの核軍備競争は人類の破滅につながること、日本は世界最初の被爆国民として広島・長崎の悲劇を全世界に繰り返させてはならないことを述べ、宣言を提案しています。

提案への反対意見は「なし」、賛成意見は「省略」で採決となり、当時の26名の議員全員が、核兵器廃絶と恒久平和の実現に賛成しています。それが分かっただけに、12月定例会で「核兵器禁止条約に批准署名を」との意見書を政府へ送れなかったことは残念でなりません。非核平和宣言都市は市民の誇りなのですから。

山﨑漳子

お悔やみ申しあげます（敬称略）

5日	小笠原純子	（85）	浅利町
7日	吉田敏廣	（67）	桜江町大貫
8日	江田末喜	（100）	桜江町八戸
11日	小林淑子	（99）	敬川町